

# みちこだより

(日本共産党・笠岡市議会議員 ひのつ倫子)

2002年4月 No. 8  
〒714-0055 笠岡市生江浜965  
Tel&Fax 0865-66-1738  
携帯電話 090-2862-4775

## 3月議会のご報告

平成14年第1回定例笠岡市議会が、3月6日に始まり、25日に閉会致しました。私は3月12日の個人質問で4項目にわたって、又14年度予算の質疑で2項目にわたって、質問に立ちました。

### 35人以下学級の実施を!

30人以下学級等の実現を求める全国署名は、13年間毎年2000万名を越えて国会に届けられており、笠岡を含め、全国1658議会において、同様の趣旨の意見書が採択されています。

国は今だこうした国民要求に応えようとしていませんが、実施内容の違いはあるものの岡山県など19道県が35人以下学級など打ち出しました。

笠岡市でも不登校など教育困難を少しでも解消するという意味で、30人以下学級を展望した、35人以下学級を実施する考えはないかどうか、中央小学校での37人学級を例にあげ、質問致しました。

これに対し、教育長から、学級定員については県の同意が必要。市町村独自ではできない。小人数学級の要望は行政としても県に働きかけているとの答弁でありました。

私は、30人以下学級の実現を目指して頑張ります。それが実現されない間であっても学級定員が今より改善されるよう奮闘したいと思います。



### 不安のない学校5日制を!

この4月からの完全学校5日制実施にあたり、働く父母の間に、子供たちの生活、安全に関して不安がますます高まっています。アンケートなどにより実態や要求を把握し、学童保育所の新設、増設、土曜日の開所を含めて実施する考えはないかどうか質問しました。

教育長から、保護者地域からの要望があり、空き教室など条件がそろえば援助していく。アンケートは必要に応じて実施する。学校5日制に対する保護者の不安など把握するよう努力したいとの答弁がありました。私は直接間接を問わず、保護者に学童保育所設置の要求があれば、その実現に向けて、奮闘していきたいと思っています。

### 島の振興は、島の教育の振興とともに!

離島振興にかかわる取り組みが報道されていますが、島の振興の中に教育の発展振興がきちんと位置付けられていません。私は2月16、17日と2日間にわたって飛鳥、真鍋島、白石島、北米島の4島を訪れ、50名以上の人たちと話し合うことが出来ました。

海援隊の活躍に対する感謝や島での取り組みなど語られましたが、皆さん異口同音に「島のためなら何でもやる。しかし島の将来の振興の姿が見えてこない。行政は島の振興と言うが、学校とな

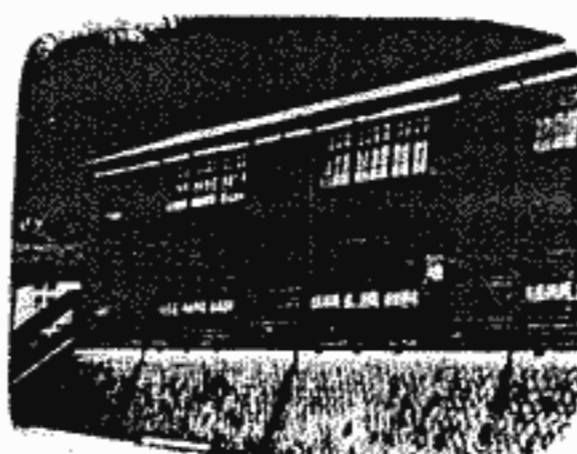
ると廃校か、せめて休校にして、子供がいれば、いつでも開校できるようにしてほしい」と言われています。

海援隊や島の人たちの努力を無にせず、発展させるためにも、学校統廃合路線ではなく、島の振興と島の学校の振興を合わせて、行政と島の人たちが懇談すべきではないかと質問しました。

市長答弁は、第5次笠岡市振興計画に沿って、離島振興計画を策定中。その中に教育の振興も組み入れているので見てほしい。島に学校を残すことで、真の教育を損なうことがあってはならない。というものでありました。

私は、休校を含め、島に中学校が残るよう奮闘していきたいと思っています。又、島と島の学校が共に振興するよう、行政と島の人たちが話し合い、協力し合う事が必要だと思います。

私は島を訪問しての帰り、漁船で仕事をする卒業生に会いました。彼の、仕事に誇りを持ったしぐさと笑顔に心を打たれました。そして、ここに島の未来を確信しました。



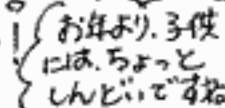
(失礼な言い方ですがあばら家ではありません。)  
真鍋島の中学校です。

ご挨拶 

バトンタッチして早や2年が経過しました。折り返し地点です。倫子さんの一生懸命の活躍は、目を見張るものがあります。

後半の2年、今度はじっくり焦らずに、落ち着いて活動してください。そして初心を忘れず、これからも2人3脚で頑張ってください。 (元市議会議員 酒井 宏有)



弱者にやさしい道路整備を! 

弱者にやさしい道路が少ない現状を、宮地の急な坂道を例に挙げ、生活関連道路に限り、一度全体的に点検し、安全で、傾斜のゆるやかな道路計画を立ててはどうかと質問しました。

市長から、高齢社会の到来に備え、歩行者の安全確保とバリアフリー化(障害物を取り除く)ことは大切だと考える。指摘された宮地についても、最大限の対応を担当の方で考えているところだ。との答弁がありました。

私はこれからも、お年より、幼児、児童、障害のある方々に目を向けた道路整備がされるよう頑張りたいと思います。

“仕事を忘れて4日間、  
弟家族と楽しく過ごしました。”

台湾へ赴任している弟の家族4人が3年ぶりにそろって帰国。なつかしく、話がはずみました。海外で頑張っている弟の姿に、私も励まされました。帰省初日、卒業生経営の3番町「ふじよし」で食事をおいしくいただきました。



指定ゴミ袋を使用してのゴミ出しがスタート致しました。いろいろ戸惑うこともあると思います。ご要望、ご意見がありましたら、ご連絡ください。



# 14年度予算案ここがかしい

## ① 同和関係予算

昨年度は同和对策費として9274万円、今年度人権政策費として9031万円が計上されています。この人権政策費のうち、5項目118万4千円を除くと、他は昨年度の同和对策費と全く同じ項目です。

私は昨年12月、笠岡市が人権条例を制定した際、人権と名を打った同和条例ではないかと質問したのに対し、市長はあくまで人権尊重の条例であって、同和条例ではないと答弁されました。しかしこの2つを比べて見ると基本的な違いは



## アグリスポーツ公園

予算概要説明の中に、アグリスポーツ公園事業費笠岡市負担分として53億円と書かれてあります。これは県の事業です。市の分担費用が市の財政を圧迫していることは事実です。県と市の事業費の総額と比率がどうなっているのか、又7千万円とも予想される維持管理費等、県が負担するよう働きかけるのが当然と質問しました。

市長から、費用について県が70億3500万円、市が36億3000万円と比率は約7対3となる。土地代の18億円はこれに含めない。公園事業は市が要望してスタートしたもので、通常の維持管理費は市が負担するという約束なので、これ以上県に対して補助金等要望すべきではないと考える。という答弁がありました。

18億円の土地代を県と市の事業費分担の比率に含めない事と言ひ、これ以上県に要望しない理由と言ひ、奇弁としか言ひようがありません。(ア)

全くありません。どこが違うのか質問しました。中でも同和関係3団体に対する団体補助金は約4千万円であり、例えば笠岡市PTA連合会に対する補助金22万5千円と比べて180倍にもものぼり、あまりにも違い過ぎると指摘致しました。さらに奨学金等の給付事業1350万円についても、以前私が提案致しました市独自の高校生以上に対する奨学金制度を実現し、同和地区の子供たちだけでなく、全市民の子供を対象にした就学援助が可能になることを付け加えて市長に質問しました。

市長から、人権条例に基づき、あらゆる人権問題に関する施策を推進する。機構改革で同和对策費を人権政策費と名称を変更した。PTAの補助金と違って、同和関係団体補助金は行政のやるべき事柄をその団体に委託している。段階的解消は各団体と協議している。といった答弁がありました。

3月14日付朝日新聞で、全国36自治体8指定都市において、今年度、従来の同和予算を7割削減。奨学金等は同和地区に限らず誰でも借りることの出来る一般施策への移行が報道されました。笠岡市においても全国的な教訓に学び、昨年からの約束していた段階的解消を、具体的に、明確に示す必要があると考えます。

(V) 土地代18億円は53億円の中に含まれることは予算の概要説明で明らかです。県が70億3500万円、市が54億3000万円、その比率は7対5となり、決して7対3ではありません。300億円の借金を抱える笠岡市が、当然県が負担すべき費用までも市の財政から支出して、これ以上市民への負担を強いることは許されません。維持管理費等、県が負担すべき費用は県が支出するよう、県に働きかけるべきだと考えます。

### 14年度予算案に反対致しました

以上の事に加え、各種使用料等に一律的に消費税が転嫁されていることなどを理由に、共産党市議団としては14年度予算案に反対致しました。

# あしあと

1/13 登は20数年前の卒業生の同窓会に出席しました。夜は10年前の卒業生が子供を連れてわが家を訪れ、同窓会づくしとなりました。



3/29 この3月大学を卒業した空手道部の、たくましい青年たちがわざわざ立ち寄ってくれました。



(総勢13名が集まりました)

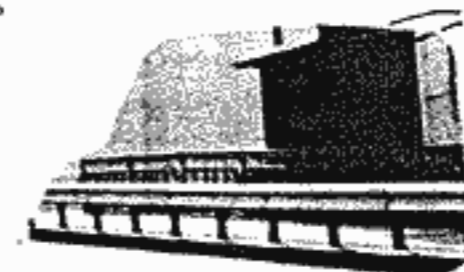
- 2/16・17 4つの島に伺いました。
- 2/22 西備養護学校に岡田・近藤県議と共に重複障害児童受け入れ後の、教育条件など実態を調査し改善を申し入れました。
- 3/15~各校・園の卒業・修了式に出席しました。金浦中学校、新川保育園でご挨拶をさせていただきました。

ありがとうございました。

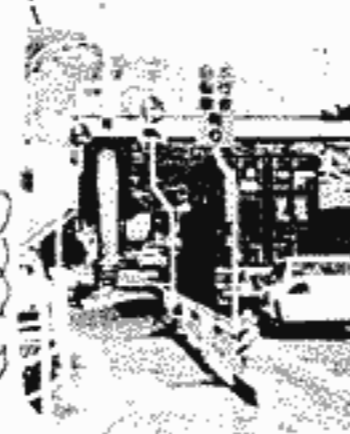
★ 生江浜の干拓堤防敷きで鉄の扉を撤去、あらたに排水溝をつくり、舗装していただきました。



- ★ 国道脇の家、プライバシーが守られるように、柵を設置していただきました。
- ☆ 相生道のグレーチングを固定していただきました。



★ 国道橋の歩道は、歩行者も自転車もこのまま進むと歩道橋の支柱を避けて、国道に大きくはみ出て危険です。担当の国土維持管理の方に改善をお願いしました。まづは道路標識を設置していただきました。



お知らせ  
井笠バスの旭丘停留所に、利用者の方がたの要望で設置していただいた長椅子が、いつの間になくなっておりました。誠に残念です。会社にお知らせし、再度設置をお願いしましたが、予備がないということでした。

- ★ 日番町緑道公園内のトイレ、水圧を直していただきました。
- ☆ 吉浜西水門急傾斜モルタル吹き付けを一部補修していただきました。
- ☆ 太陽の広場の切れていた街灯をつけていただきました。
- ☆ 生活相談で暖かい対応をしていただきました。

夫からの一言  
妻が29年間勤務した山陽高校を退職し、議会に送り出していただいて、丸2年がたちました。この間何かと皆様方にご支援、ご尽力いただきましたことを厚くお礼申し上げます。今後ともご指導よろしくお願い致します。山陽高校教諭 樋之津(旧姓林)周明

